

児童生徒向け「きよらアンケート」説明マニュアル

1 【アンケートの導入】

※ 児童生徒にアンケート回答をさせる前に、次の文章を読んでください。

このアンケートは、自分の学習の様子を振り返り、これからの学習に役立てていくためのものです。それぞれのアンケートに、自分のことが「あてはまる」と思ったときは数字の4を、「やや（少し）あてはまる」と思ったときは数字の3を、「やや（あまり）あてはまらない」と思ったときは数字の2を、「あてはまらない」と思ったときは数字の1を選んでください。

難しく考えず、自分の気持ちを正直に答えてくれれば大丈夫です。

意味の分からない言葉や、どう答えて良いのか分からないときは、先生に聞きながらアンケートを進めてください。

2 【アンケートの進め方と補足説明について】

※ 児童生徒にすべて任せるのではなく、アンケートを学級全体で一緒に進めていただくと助かります。

もし、児童生徒から質問があったり、児童生徒の様子を見ていて不安に思ったりした際は、次に示した補足説明を基本とし、児童生徒の実態に応じて、各先生方の言葉で補足説明を加えながら進めていただくと助かります。特に、低学年児童にとっては難しい項目も多いですが、昨年度との比較に用いますので、ご協力ください。

質問1 “わかりやすく説明する”というのは、相手にわかるような言葉を使ったり、話の順番を考えたりしながら説明することです。

質問2 “考えを深める”というのは、いちばんいい考えはどれか？など、意見を比べながら聞くことです。

質問3 “単元のゴール”というのは、今やっている学習を終わったときに、自分がどんなふうになりたいのか？といった“目標”のようなものです。

質問4 “解決するために必要な情報”というのは、問題をとくために必要な方法や考え方、これまで学習したことなどです。

質問5・6・7 ※これらの項目は、特に補足説明は必要ないかと思えます。

質問8 “誰かに伝えることを意識して学習をまとめる”というのは、“学習したことを、他の人に伝えるようにまとめる”ということです。

質問9 “新たな課題を見つける”というのは、“新しくやってみたい問題や、ほかに問題はないか？と考えること”です。

質問10 ※この項目は、特に補足説明は必要ないかと思えます。

質問11 短い言葉で構いません。また、児童生徒の入力が難しい場合は、未入力でも構いません。